

# いちよう 10月号



## 【創立150周年記念運動会 大成功】

過日の運動会では、コロナ禍を経て、子どもたちが重ねてきた練習の成果を存分にご覧いただけたことと思います。当日は、曇りの合間に青空も見え、絶好の運動会日和でした。赤白それぞれの応援団長率いる応援団と、150周年キャラクターの「藤郎」が、運動会を盛り上げました。

### \*練習したものを出し切る自分への挑戦

運動会の練習を通して、得意でも苦手でもやるべきことに一生懸命取り組みました。自分の目標を達成するためにどれだけ努力したか、それが大切です。

### \*友だちと1つのものを作り上げる楽しさ・達成感

表現では、練習を重ね、息の合ったダンスを披露しました。踊りきったときの友だちとの一体感は、苦労があればあるほど強いものです。保護者の皆様からの拍手や労いが、いっそう「楽しかった」「やってよかった」に繋がったはずです。

### \*友だちの良さの発見

うまくいかないとき、励ましてくれた友だちがいたはずです。頑張っている仲間がいつになく輝いて見えたでしょう。

### \*周囲への感謝

運動会の成功は一人の力ではありません。友だちをはじめ、上級生、下級生、先生、保護者、地域の皆様、ボランティアのみなさんに感謝の気持ちをもつ機会になったことと思います。ありがとうございました。

子どもたちの振り返りの言葉を紹介します。文末の（ ）は学年です。

#### \*6年生\*

- ◆ ダンスがあまりできないけれど、がんばった。
- ◆ 勝つことだけじゃなく、みんなで楽しむことができた。
- ◆ みんなそろって運動会ができて嬉しかったし、心に残った。
- ◆ みんなががんばる姿に、私もがんばろうと思った。
- ◆ (わたしの) 体調を気に懸けてくれてサポートしてくれたのが嬉しかった。

- ◆ 係の仕事を心を込めてやっている友だちがいた。
- ◆ 団長を支える応援団がすごい優しいと思った。
- ◆ 勝ち負けじゃなく、一生懸命取り組んでいたみんなが優勝だと思う。
- ◆ 6年生や先生が150周年記念の運動会のために、いろいろと動いていたところを私は見ていた。
- ◆ 見えないところで動いていた子や手伝いをしていた子、みんなが輝いていた。

#### \*5年生\*

- 練習を本気でやることができた。
- 6年生が学校のため、みんなのためにがんばっていたのがわかった。来年は自分がいっぱいはたらく。
- 協力してがんばることの大切さがわかった。
- 全力で応援できた。
- 団長がだれよりもがんばっていた。練習でもふざけないで真剣にやり、だれよりも声を出していた。その熱い思いを感じた。
- てきぱきと動ける6年生のようにになりたい。休みなく働いていた。
- 5・6年生ががんばって準備をしたからできた運動会。

#### \*3・4年生\*

- ◇ 藤小のみんなでとばした風船がとてもきれいでした。(3)
- ◇ 運動会が成功したことがうれしかった。(3)
- ◇ ダンスで精一杯がんばれた。(4)
- ◇ ダンスを何回も練習して本番で全力を出せた。(4)

#### \*1・2年生\*

- みんなでげんきに うんどうかいができたことがよかったとおもいました。(1)
- いろいろれんしゅうをかさねてがんばりました。(1)
- はじめてのうんどうかいができたことがうれしかった。(1)
- ダンスで かっこいい姿をみせることができた。(2)
- みんなと力を合わせたことがたのしかった。(2)
- おもいきり がんばれた。(2)

本校4年生田村薫子さんの作文が「小さな親切」作文コンクールで優秀賞に選ばれましたので、ご紹介します。藤岡小学校がこんな学校になることを願っています。

「小さな親切」で笑顔あふれる学校へ

栃木市立藤岡小学校 四年 田村 薫子

水泳の授業の時、水が怖くてなかなか泳げるようにならなかった。友達泳げる子が多いのに、私は水に浮かぶことさえできなくて、すぐに沈んじゃう。足を一生けん命バタバタ動かしても、ビート板がないと全然泳げない。何度やってもだめだ。先生からもいろいろと教わったけれど、うまくいかない。「私はきっと泳げるようになんかならないんだ。」そう思えてきて、とても悲しかった。

その時友達が、私にコツを教えてくれた。

「浮かぼうと思わない方が逆に浮くよ。本当だよ。私もそうだったよ。力を抜いて腕と体をまっすぐに伸ばして、プールの底を見ながら少しだけ水をけてみて。」

身振りと言葉で教えてくれた。そのときは、それで泳げるようになるなんて思えなかった。でも友達が心配して声をかけてくれたことがうれしかった。自信がなくなって、おきざりにされた気持ちになっていた私の心に、何か熱いものがわいてきた。それまでのもやもやしたものが消えてすっきりした。勇気が出てきた。思い切って、教えてもらったようにやってみた。うまくできたかどうかは分からないけれど、少しだけ泳げた。ほんの少しだったけれど、すごくうれしかった。友達もいっしょになって喜んでくれた。それがまたうれしかった。ふたりとも笑顔になった。

家に帰ってすぐに、「今日泳げるようになったよ。」って大きな声でお母さんに言った。うれしそうに話した私の顔を見て、「えっ、泳げたの。」って喜んでくれた。妹も、「すごーい。」って喜んでくれた。

「友達にコツを教わったら泳げたんだ。」って言ったら、「よかったねえ。」ってもっともっと喜んでくれた。お風呂の時も晩ごはんの時もその話をした。始めに友達が教えてくれたことがきっかけで、私も私の家族もみんな幸せな気持ちになれた。

困っている時には、ちょっとした親切がとてもうれしいってことが、今回のことで分かった。うれしい気持ちは、周りの人に広がっていくということも分かった。親切にしてもらってうれしくなった自分が、他の人に親切にしてあげたい気持ちになることも分かった。

困っている友達を見かけたら、今度は私が親切にしてあげたい。自信をなくしていた私を助けてくれて、いっしょに喜んでくれた友達みたいに。そしてその親切が、次の人の親切につながっていくといいな。親切の輪が広がって、笑顔の花が咲くようなクラスにしたい。それが学年や学校全体に広がったらいいな。小さな親切であふれ、みんなが幸せな気持ちになって、もっともっと素敵な学校になったらいいな。